

シックリフト工法による施工手間の軽減

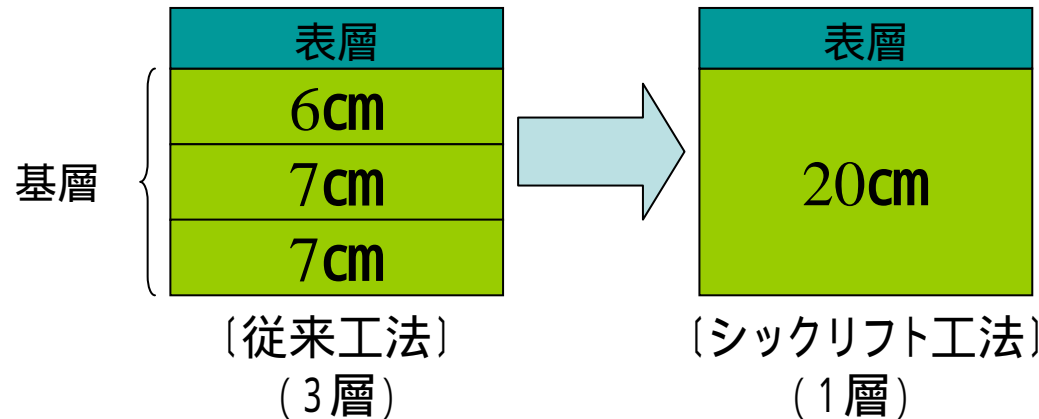
概要：大阪国際空港のB誘導路では航空機の低速走行や離陸待ち等により舗装路面の損傷が著しいことから、従来の工法に替えてシックリフト工法（ ）による補修を行い耐久性の向上やコスト縮減を図った。

（ ）従来のアスファルト舗装の施工では、厚さ6～8cm毎に敷きならして積み上げていたが、シックリフト工法では10cm以上の厚い層を一度に敷きならす

効果：通常3層打ちのところを1層打ちにし、施工手間を軽減できた。

工事費を、108百万円から105百万円に縮減。

(縮減額 3百万円、縮減率 約3%)



施工状況写真

